

第33期第7回社会教育委員会議 意見等整理表(案)

資料 3

枚方市教育委員会
社会教育部

項目	委員名	内 容	論点(キーワード)	対応方策	備考
4. 課題の解決に向けた取り組み	西田委員	後期高齢者というのは、75歳以上の人たちですよ。生涯学習市民センターでいろいろと活動していますよね。あれがどんな形で今後進んでいったらいいのかなと、私もちょっと活動したいなと入っていているんですけども、ただ健康づくりだけでなく、それが地域に活かせるような何かにつながっていかないのかなということをちょっと感じていますけれども。	高齢者の健康づくりを地域に還元する仕組みづくり	意見書の4. 課題の解決に向けた取り組みの(3)社会生活における「つながり」の再生の部分に、高齢者の生きがいがづくりと平行して、“健康づくり”という文言を加えます。	
	西田委員	それぞれの部分での目的に沿って、いろいろな事業をされていますよね。その中でリーダーが育ってきているんですよ。リーダーをもっと活用できるようにそこで講師をしていた先生方が入れかわって、受講していた人たちが講師になって、だんだんと発展していている。地域で小さい教室を開いて、健康づくりのために活動している。ヨガなんかもそうですし、太極拳もそうですし、いろんな、今お互い地域で根ざしてきていますよね。そういう現状があるので、もっとそれが推進できるような何かがあればなというのを、私もちょっと仕事をやめて時間がありましたので、地域に出て行ってそういう中に入っているんですけど、感じています。本当に小さいグループで、ちょっとずつできていているんですよ、健康づくりのリーダーの人たちが。	高齢者の健康づくりの活動が、地域づくりや地域リーダー養成に寄与している現状		
5. 枚方市全体としての取り組みの重要性	志保田委員	これからの展望ですが、いろいろなリーダーの養成とか言われていることはわかるんですけど、社会教育委員の活用といいますか、例えばこの前、各施設の見学に行きましたよね。あれで随分、単に机に向かっていより実感があつたんですね。そういうのを生かして、各種の人々が努力する中で、我々委員も努力しなきゃいかんのかなということを思いまして、特に来期からの方に頑張りたいと思いました。	社会教育委員の活用とその活動の重要性	意見書の5. 枚方市全体としての取り組みの重要性の文中に、社会教育委員の立場とその役割について、記載を加えます。	